

科 目 名	必修／選択	単位数	学 年	学科・類型
体 育	必修	2	1	理数科・普通科

科目の概要	運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる科目である。			
-------	--	--	--	--

教材名	教科書	
	副教材	

学習到達目標	1 技 能 生涯にわたって運動を豊かに実践する能力を身につけること。 2 態 度 自主的に取り組む能力を身につけること。 3 知 識 技術（技）の名称や行い方や体力の高め方、運動観察の方法、伝統的な考え方、交流や発表の仕方などを理解すること。 4 思考・判断 自己の課題に応じた運動の取り組み方を理解すること。
--------	--

学習方法	体を動かすことを通して、合理的な運動の行い方や体力の高め方などの知識の重要性を認識し、各運動特有の特性や魅力を味わい、スポーツの文化的価値などに対する理解を深め、社会的態度を身に付けられるよう取り組むこと。
------	---

評価の方法 及び 評価基準 と 評価規準 ルーブリック		技 能	態 度	知 識	思考・判断
	評価方法	・技能テスト ・課題の取組状況	・課題の取組状況 ・授業に対する姿勢	・技能テスト ・課題の取組状況	・課題の取組状況 ・授業に対する姿勢
	S	攻防や動きの様相を高めて、記録や技に挑戦したり、試合や発表したりでき、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができる。	取り組むべき課題を明確に把握し、課題に応じた練習方法を的確に選択することができる。	基本的な概念、原理などの知識に加え、発展的な概念等も正しく理解している。	既習の知識や技能を活用して、自己の課題に応じた解決方法を思考・判断できる。
	A	攻防や動きの様相を高めて、記録や技に挑戦したり、試合や発表したりできる。	取り組むべき課題を把握し、課題に応じた練習方法を選択することができる。	基本的な概念、原理などの知識を正しく理解している。	自己の課題に応じた解決方法を思考・判断できる。
	B	攻防や動きの様相を高めることができる。	取り組むべき課題を把握することができる。	基本的な概念を把握している。	自己の課題に応じた解決方法を思考できる。
	C	攻防や動きの様相を高めることができない。	取り組むべき課題を把握することができない。	必要な知識を覚えることができず、概念や原理も理解できない。	自己の課題を把握することができない。

年 間 学 習 計 画 (男子)

科目名 [体 育]

月	章 ・ 単元	学習内容・目標等	時数	備考(テスト・講習等)
4	体づくり運動 体ほぐしの運動・体力を高める運動	ペアでストレッチングしたり、緊張を解いて脱力したりする運動 仲間と動きを合わせたり、対応したりする運動 新体力テストなど 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、健康の保持増進や体力の向上を図り、目的に適した運動の計画や自己の体力や生活に応じた運動の計画を立て、実生活に役立てることができるようにする。	4	新体力テスト
4 5	器械運動 マット運動	倒立前転 伸膝前転など 回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技、発展技を行うこと、それらを構成し演技することができるようにする。	7	倒立前転 伸膝前転
6 7	球技 ハンドボール 体育理論	ランニングパスからのジャンプシュートなど 安定したボール操作と空間を作り出すなどの連携した動きによってゴール前への進入などから攻防を展開することができるようにする。	10	ランニングパスからのジャンプシュート
8 9	球技 サッカー 体育理論	パス(インサイドキック) シュートなど 安定したボール操作と空間を作り出すなどの連携した動きによってゴール前への進入などから攻防を展開することができるようにする。	10	パス(正確なインサイドキック)シュート
10 11	武道 柔道	前回り受身 寝技(上四方・袈裟固め・縦四方・横四方) 投げ技(大外刈り 小内刈り 体落とし 大腰 大内刈り 背負い投げ 払い腰など) 相手の動きの変化に応じた基本動作から、基本となる技、得意技や連絡技を用いて、相手を崩して投げたり、抑えたり、返したりするなどの攻防を展開することができるようにする。	10	前回り受身 投げ技
11 12 1	球技 バレーボール	オーバー・アンダーハンドパス・スパイク・サービスなど 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防を展開することができるようにする。	10	オーバーハンドパス アンダーハンドパス
1 2 3	球技 バスケットボール	ゴール下シュート ドリブルシュートなど 安定したボール操作と空間を作り出すなどの連携した動きによってゴール前への進入などから攻防を展開することができるようにする。	10	ゴール下シュート ドリブルシュート
3	体づくり運動 体ほぐしの運動・体力を高める運動	リズムに乗って心が弾むような運動 仲間と協力して課題に挑戦する運動 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、健康の保持増進や体力の向上を図り、目的に適した運動の計画や自己の体力や生活に応じた運動の計画を立て、実生活に役立てることができるようにする。	3	

年 間 学 習 計 画 (女子)

月	章 ・ 単元	学習内容 ・ 目標等	時数	備考 (テスト・講習等)
4	体づくり運動 体ほぐしの運動・体力を高める運動	ペアでストレッチングしたり、緊張を解いて脱力したりする運動 仲間と動きを合わせたり、対応したりする運動 新体力テストなど 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、健康の保持増進や体力の向上を図り、目的に適した運動の計画や自己の体力や生活に応じた運動の計画を立て、実生活に役立てることができるようにする。	4	新体力テスト
4 5	器械運動 マット運動	倒立前転 伸膝後転など 回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技、発展技を行うこと、それらを構成し演技することができるようにする。	7	倒立前転 伸膝後転
6	球技 バレーボール 体育理論	オーバー・アンダーハンドパスなど 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防を展開することができるようにする。	10	オーバーハンドパス アンダーハンドパス
7 8 9	球技 ハンドボール 体育理論	ジャンプシュート 安定したボール操作と空間を作り出すなどの連携した動きによってゴール前への進入などから攻防を展開することができるようにする。	10	ジャンプシュート
10 11	球技 バスケットボール	ゴール下シュート ドリブルシュートなど 安定したボール操作と空間を作り出すなどの連携した動きによってゴール前への進入などから攻防を展開することができるようにする。	10	ゴール下シュート ドリブルシュート
12 1 2	ダンス 創作ダンス	グループで「自然」をテーマにダンス発表 表したいテーマにふさわしいイメージをとらえ、個や群で、緩急強弱のある動きや空間の使い方に変化を付けて即興的に表現したり、簡単な作品にまとめたりして踊ることができるようにする。	15	グループで「自然」を テーマにダンス発表
2	球技 バドミントン	クリアー ドロップ サービス 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防を展開することができるようにする。	10	クリアー ドロップ サービス
3	体づくり運動 体ほぐしの運動・体力を高める運動	リズムに乗って心が弾むような運動 仲間と協力して課題に挑戦する運動 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、健康の保持増進や体力の向上を図り、目的に適した運動の計画や自己の体力や生活に応じた運動の計画を立て、実生活に役立てることができるようにする。	3	

科目名	必修／選択	単位数	学 年	学科・類型
保 健	必修	1	1	理数科・普通科

科目の概要	国民すべてにとって心身の健康の保持増進が課題となっている。解決に向けて、健康・安全に関する基礎的・基本的な内容を体系的に学習することにより、健康問題を認識し、これを科学的に思考・判断し、適切に対処できる能力を養う科目である。			
教材名	教科書	大修館 現代高等保健体育(保体 301)		
	副教材	大修館 図説現代高等保健		
学習到達目標	1 関心・意欲・態度 個人や社会生活における健康・安全について関心を持ち、意欲的に取り組む態度が身に付けること。 2 思考・判断 個人や社会生活における健康・安全に関する思考を深め、その活用方法を適切に判断し、効果的な利用を工夫する能力を身につけること。 3 知識・理解 個人及び社会生活における健康・安全についての知識・理解を深めること。			
学習方法	1 教科書・図説に目を通し、予習すること。 2 1単位授業なので、授業内でしっかり理解すること。 3 定期考査は2回実施(第2回、第4回)。 4 教科書の範囲にとどまらず、新聞を読む等により社会的・健康問題等に関して広く関心を持つこと。			
評価の方法 及び 評価規準 ルーブリック		関心・意欲・態度	思考・判断	知識・理解
	評価方法	・課題の取組状況 ・授業に対する姿勢	・定期考査 ・課題の取組状況 ・授業に対する姿勢	・定期考査 ・課題の取組状況
	S	日頃から健康・安全について考えることができ、自ら進んで学びを深めることができる。	健康・安全についての見方や考え方を活用しながら論理的に考察し、他の人にわかりやすく表現することができる。	基本的な概念、原理などの知識に加え、発展的な概念等も正しく理解している。
	A	健康・安全について考えることに強い関心を持ち、意欲的に授業に参加することができる。	健康・安全についての見方や考え方を身に付け、論理的に考察し、他の人にわかりやすく表現することができる。	基本的な概念、原理などの知識を正しく理解している。
	B	与えられた課題等に取り組む中で健康・安全について関心を持つことができる。	健康・安全についての見方や考え方を身に付け、論理的に考察することができる。	基本的な概念を把握している。
	C	健康・安全についての重要性が認識できず、課題等の取組も甘い。	自らの考え方を健康・安全についての見方や考え方をを用いて論理的にまとめることができない。	必要な知識を覚えることができず、概念や原理も理解できない。

年 間 学 習 計 画

月	章 ・ 単元	学習内容・目標等	時数	備考(テスト・講習等)
4 5 6	健康の考え方	国民の健康水準と疾病構造の変化 健康の考え方と成り立ち 健康に関する意志決定や行動選択 健康に関する環境づくり 健康の考え方は、国民の健康水準の向上や疾病構造の変化に伴って変わってきていること。また、健康は、様々な要因の影響を受けながら、主体と環境の相互作用の下に成り立っていることを理解できるようにする。	8	
6 7 8 9	健康の保持増進と疾病の予防	生活習慣病とその予防 食事、運動、休養、睡眠、喫煙 飲酒と健康 薬物乱用と健康 感染症とその予防 健康の保持増進と生活習慣病の予防には、食事、運動、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践する必要があること。喫煙と飲酒は、生活習慣病の要因になること。また、薬物乱用は、心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから行つてならないこと。それらの対策には、個人や社会環境への対策が必要であること。感染症の発生や流行には、時代や地域によって違いがみられること。その予防には、個人的及び社会的な対策を行う必要があることを理解できるようにする。	10	前期末テスト
10 11 12 1	精神の健康	欲求と適応機制 心身の相関 ストレスへの対処 自己実現 人間の欲求と適応機制には、様々な種類があること。精神と身体には、密接な関連があること。また、精神の健康を保持増進するには、欲求やストレスに適切に対処するとともに、自己実現を図るよう努力していくことが重要であることを理解できるようにする。	11	
1 2	交通安全	交通事故の現状 交通社会に必要な資質と責任 安全な社会づくり 交通事故を防止するには、車両の特性の理解、安全な運転や歩行など適切な行動、自他の生命を尊重する態度、交通環境の整備などがかわること。また、交通事故には責任や補償問題が生じること	3	
2 3	応急手当	応急手当の意義 日常的な応急手当 心肺蘇生法 適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を軽減できること。応急手当には、正しい手順や方法があること。また、心肺蘇生等の応急手当は、傷害や疾病によって身体が時間の経過とともに損なわれていく場合があることから、速やかに行う必要があることを理解できるようにする。	3	学年末テスト

科 目 名	必修／選択	単位数	学 年	学科・類型
体 育	必修	2	2	理数科・普通科

科目の概要	運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる科目である。
-------	--

教材名	教科書	
	副教材	

学習到達目標	1 技 能 生涯にわたる豊かなスポーツライフを継続する能力を身に付けること。 2 態 度 主体的に取り組む能力を身に付けること。 3 知 識 技術（技）の名称や行い方や体力の高め方、課題解決の方法、伝統的な考え方、競技会・試合・発表の仕方などを理解すること。 4 思考・判断 自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を思考・判断すること。
--------	---

学習方法	体を動かすことを通して、合理的な運動の行い方や体力の高め方などの知識の重要性を認識し、各運動特有の特性や魅力を味わい、スポーツの文化的価値などに対する理解を深め、社会的態度を身に付けられるよう取り組むこと。
------	---

評価の方法 及び 評価基準 と 評価規準 ルーブリック		技能	態度	知識	思考・判断
	評価方法	・技能テスト ・課題の取組状況	・課題の取組状況 ・授業に対する姿勢	・技能テスト ・課題の取組状況	・課題の取組状況 ・授業に対する姿勢
	S	攻防や動きの様相を高めて、記録や技に挑戦したり、試合や発表したりでき、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができる。	取り組むべき課題を明確に把握し、課題に応じた練習方法を的確に選択することができる。	基本的な概念、原理などの知識に加え、発展的な概念等も正しく理解している。	既習の知識や技能を活用して、自己の課題に応じた解決方法を思考・判断できる。
	A	攻防や動きの様相を高めて、記録や技に挑戦したり、試合や発表したりできる。	取り組むべき課題を把握し、課題に応じた練習方法を選択することができる。	基本的な概念、原理などの知識を正しく理解している。	自己の課題に応じた解決方法を思考・判断できる。
	B	攻防や動きの様相を高めることができる。	取り組むべき課題を把握することができる。	基本的な概念を把握している。	自己の課題に応じた解決方法を思考できる。
	C	攻防や動きの様相を高めることができない。	取り組むべき課題を把握することができない。	必要な知識を覚えることができず、概念や原理も理解できない。	自己の課題を把握することができない。

年間学習計画(男子)

科目名 [体 育]

月	章・単元	学習内容・目標等	時数	備考(テスト・講習等)
4	体づくり運動 体ほぐしの運動・体力を高める運動	ペアでストレッチしたり、緊張を解いて脱力したりする運動 仲間と動きを合わせたり、対応したりする運動 新体力テストなど 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、健康の保持増進や体力の向上を図り、目的に適した運動の計画や自己の体力や生活に応じた運動の計画を立て、実生活に役立てることができるようにする。	4	新体力テスト
4 5	器械運動 マット運動	ロンダート 後転倒立 ハンドスプリングなど 回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技、発展技を滑らかに行うこと、それらを構成し演技することができるようにする。	7	ロンダート 後転倒立 ハンドスプリング
6 7	球技 ハンドボール 体育理論	フェイントからのシュートなど 状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防を展開することができるようにする。	13	フェイントからのシュート
8 9	球技 サッカー 体育理論	シュート ドリブル パスなど 状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防を展開することができるようにする。	13	シュート ドリブル パス
10 11	武道 柔道	連絡技など 相手の多様な動きに応じた基本動作から、得意技や連絡技・変化技を用いて、素早く相手を崩して投げたり、抑えたり、返したりするなどの攻防を展開することができるようにする。	10	連絡技
11 12 1	球技 バレーボール	スパイク サービスなど 状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作りだすなどの攻防を展開することができるようにする。	10	スパイク サービス
1 2 3	球技 バスケットボール	ミドルシュート ドリブルシュートなど 状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防を展開することができるようにする。	10	ミドルシュート ドリブルシュート左右
3	体づくり運動 体ほぐしの運動・体力を高める運動	リズムに乗って心が弾むような運動 仲間と協力して課題に挑戦する運動など 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、健康の保持増進や体力の向上を図り、目的に適した運動の計画や自己の体力や生活に応じた運動の計画を立て、実生活に役立てることができるようにする。	3	

年 間 学 習 計 画 (女子)

月	章 ・ 単元	学習内容 ・ 目標等	時数	備考 (テスト・講習等)
4	体づくり運動 体ほぐしの運動・体力を高める運動	ペアでストレッチングしたり、緊張を解いて脱力したりする運動 仲間と動きを合わせたり、対応したりする運動 新体力テストなど 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、健康の保持増進や体力の向上を図り、目的に適した運動の計画や自己の体力や生活に応じた運動の計画を立て、実生活に役立てることができるようにする。	4	新体力テスト
4 5	器械運動 マット運動	伸膝前転 側方倒立回転など 回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技、発展技を滑らかに行うこと、それらを構成し演技することができるようにする。	7	伸膝前転 側方倒立回転
6 7	球技 バレーボール 体育理論	スパイク サービスなど 状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作りだすなどの攻防を展開することができるようにする。	13	スパイク サービス
8 9	球技 ハンドボール 体育理論	ランニングパスからのシュートなど 状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防を展開することができるようにする。	13	ランニングパスからのシュート
10 11	球技 バスケットボール	レイアップシュートなど 状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防を展開することができるようにする。	10	レイアップシュート
12 1	ダンス 現代的なリズムのダンス	グループでテーマを決めダンス発表など 表したいテーマにふさわしいイメージをとらえ、個や群で、対極の動きや空間の使い方で変化を付けて即興的に表現したり、イメージを強調した作品にまとめたりして踊ることができるようにする。	15	グループでテーマを決めダンス発表
2 3	球技 バドミントン	サービス クリアー ドロップなど 状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作りだすなどの攻防を展開することができるようにする。	4	サービス クリアー ドロップ
3	体づくり運動 体ほぐしの運動・体力を高める運動	リズムに乗って心が弾むような運動 仲間と協力して課題に挑戦する運動など 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、健康の保持増進や体力の向上を図り、目的に適した運動の計画や自己の体力や生活に応じた運動の計画を立て、実生活に役立てることができるようにする。	3	

科目名	必修／選択	単位数	学 年	学科・類型
保 健	必修	1	2	理数科・普通科

科目の概要	国民すべてにとって心身の健康の保持増進が課題となっている。解決に向けて、健康・安全に関する基礎的・基本的な内容を体系的に学習することにより、健康問題を認識し、これを科学的に思考・判断し、適切に対処できる能力を養う科目である。			
-------	--	--	--	--

教材名	教科書	大修館 現代高等保健体育(保体 301)
	副教材	大修館 図説現代高等保健

学習到達目標	1 関心・意欲・態度 個人や社会生活における健康・安全について関心を持ち、意欲的に取り組む態度が身に付くこと。 2 思考・判断 個人や社会生活における健康・安全に関する思考を深め、その活用方法を適切に判断し、効果的な利用を工夫する能力を身につけること。 3 知識・理解 個人及び社会生活における健康・安全についての知識・理解を深めること。
--------	---

学習方法	1 教科書・図説に目を通し、予習すること。 2 1単位授業なので、授業内でしっかり理解すること。 3 定期考査は2回実施(第2回、第4回)。 4 教科書の範囲にとどまらず、新聞を読む等により社会的・健康問題等に関して広く関心を持つこと。
------	---

評価の方法 及び 評価規準 ルーブリック		関心・意欲・態度	思考・判断	知識・理解
	評価方法	・課題の取組状況 ・授業に対する姿勢	・定期考査 ・課題の取組状況 ・授業に対する姿勢	・定期考査 ・課題の取組状況
	S	日頃から健康・安全について考えることができ、自ら進んで学びを深めることができる。	健康・安全についての見方や考え方を活用しながら論理的に考察し、他の人にわかりやすく表現することができる。	基本的な概念、原理などの知識に加え、発展的な概念等も正しく理解している。
	A	健康・安全について考えることに強い関心を持ち、意欲的に授業に参加することができる。	健康・安全についての見方や考え方を身に付け、論理的に考察し、他の人にわかりやすく表現することができる。	基本的な概念、原理などの知識を正しく理解している。
	B	与えられた課題等に取り組む中で健康・安全について関心を持つことができる。	健康・安全についての見方や考え方を身に付け、論理的に考察することができる。	基本的な概念を把握している。
	C	健康・安全についての重要性が認識できず、課題等の取組も甘い。	自らの考え方を健康・安全についての見方や考え方をを用いて論理的にまとめることができない。	必要な知識を覚えることができず、概念や原理も理解できない。

年 間 学 習 計 画

月	章 ・ 単元	学習内容・目標等	時数	備考 (テスト・講習等)
4 5 6 7 8 9	生涯を通じる健康 生涯の各段階における健康	思春期と健康 結婚生活と健康 妊娠・出産・家族計画・人工妊娠中絶 加齢と健康 高齢者の支援 生涯にわたって健康を保持増進するには、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりがかかわっていることを理解できるようにする。	16	前期末テスト
9 10	生涯を通じる健康 保健・医療制度及び地域の保健・医療機関	我が国の保健・医療制度 医薬品 地域の保健・医療機関の活用 生涯を通じて健康を保持増進するには、保健・医療制度や地域の保健所、保健センター、医療機関などを適切に活用することが重要であることを理解できるようにする。また、医薬品の種類や安全対策について理解できるようにする。	4	
10	生涯を通じる健康 様々な保健活動や対策	様々な保健活動や対策 我が国や世界では、健康課題に対応して様々な保健活動や対策などが行われていることを理解できるようにする。	2	
11 12	社会生活と健康 環境と健康	環境の汚染と健康 環境と健康にかかわる対策 人間の生活や産業活動は、自然環境を汚染し健康に影響を及ぼすこともあること。それらを防ぐには、汚染の防止及び改善の対策をとる必要があることを理解できるようにする。	5	
12 1 2	社会生活と健康 環境と食品の保健	環境保健にかかわる活動 食品保健にかかわる活動 健康の保持増進のための環境と食品の保健 環境衛生活動は、学校や地域の環境を健康に適したものとするよう基準が設定され、それに基づき行われていること。また、食品衛生活動は、食品の安全性を確保するよう基準が設定され、それに基づき行われていることを理解できるようにする。	5	
2 3	社会生活と健康 労働と健康	労働災害と健康 働く人の健康の保持増進 労働災害の防止には、作業形態や作業環境の変化に起因する生涯や職業病などを踏まえた適切な健康管理及び安全管理をする必要があることを理解できるようにする。	3	学年末テスト

科目名	必修／選択	単位数	学 年	学科・類型
体 育	必修	3	3	理数科・普通科

科目の概要	運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる科目である。
-------	--

教材名	教科書	
	副教材	

学習到達目標	1 技能 生涯にわたる豊かなスポーツライフを継続する能力を身に付けること。 2 態度 主体的に取り組む能力を身に付けること。 3 知識 技術（技）の名称や行い方や体力の高め方、課題解決の方法、伝統的な考え方、競技会・試合・発表の仕方などを理解すること。 4 思考・判断 自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を思考・判断すること。
--------	--

学習方法	体を動かすことを通して、合理的な運動の行い方や体力の高め方などの知識の重要性を認識し、各運動特有の特性や魅力を味わい、スポーツの文化的価値などに対する理解を深め、社会的態度を身に付けられるよう取り組むこと。
------	---

評価の方法 及び 評価基準 と 評価規準 ルーブリック		技能	態度	知識	思考・判断
	評価方法	・技能テスト ・課題の取組状況	・課題の取組状況 ・授業に対する姿勢	・技能テスト ・課題の取組状況	・課題の取組状況 ・授業に対する姿勢
	S	攻防や動きの様相を高めて、記録や技に挑戦したり、試合や発表したりでき、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができる。	取り組むべき課題を明確に把握し、課題に応じた練習方法を的確に選択することができる。	基本的な概念、原理などの知識に加え、発展的な概念等も正しく理解している。	既習の知識や技能を活用して、自己の課題に応じた解決方法を思考・判断できる。
	A	攻防や動きの様相を高めて、記録や技に挑戦したり、試合や発表したりできる。	取り組むべき課題を把握し、課題に応じた練習方法を選択することができる。	基本的な概念、原理などの知識を正しく理解している。	自己の課題に応じた解決方法を思考・判断できる。
	B	攻防や動きの様相を高めることができる。	取り組むべき課題を把握することができる。	基本的な概念を把握している。	自己の課題に応じた解決方法を思考できる。
	C	攻防や動きの様相を高めることができない。	取り組むべき課題を把握することができない。	必要な知識を覚えることができず、概念や原理も理解できない。	自己の課題を把握することができない。

年 間 学 習 計 画

科目名 [体 育]

月	章 ・ 単元	学習内容・目標等	時数	備考 (テスト・講習等)
4	体づくり運動 体ほぐしの運動・体力を高める運動	ペアでストレッチしたり、緊張を解いて脱力したりする運動 仲間と動きを合わせたり、対応したりする運動 新体力テスト 体を動かす美しさや心地よさを味わい、健康の保持増進や体力の向上を図り、目的に適した運動の計画や自己の体力や生活に応じた運動の計画を立て、実生活に役立てることができるようにする。	6	新体力テスト
	器械運動 マット運動	連続技 回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技、発展技を滑らかに行うこと、それらを構成し演技することができるようにする。	1 2	男子 倒立前転・前転・飛び込み前転・伸膝前転・ロンダード・後転倒立・伸膝後転・ハンドスプリング 女子 伸膝前転・前転・開脚前転・倒立前転・伸膝後転・開脚後転・後転・側転
6 7	《種目選択授業》 球技 バレーボール ハンドボール サッカー 体育理論	I 期 ゴール型 状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防を展開することができるようにする。	1 0	1 各種目で実施 2 集団における各自の役割、活動内容を総合的に評価する。
7 8	球技 バスケットボール ハンドボール サッカー	II 期 ネット型 状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作りだすなどの攻防を展開することができるようにする。	1 2	3 グループノート活用
8 9 10	球技 ソフトボール ソフトテニス バドミントン	III 期 ベースボール型 状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防を展開することができるようにする。	1 4	
10 11	球技 バスケットボール 卓球 バドミントン	IV 期	1 2	
11 12 1	球技 バレーボール 卓球 バドミントン	V 期	1 5	
1	体づくり運動 体ほぐしの運動・体力を高める運動	リズムに乗って心が弾むような運動 仲間と協力して課題に挑戦する運動 体を動かす美しさや心地よさを味わい、健康の保持増進や体力の向上を図り、目的に適した運動の計画や自己の体力や生活に応じた運動の計画を立て、実生活に役立てることができるようにする。	4	